



ESG・SDGsへの取組み

一般社団法人 第二地方銀行協会



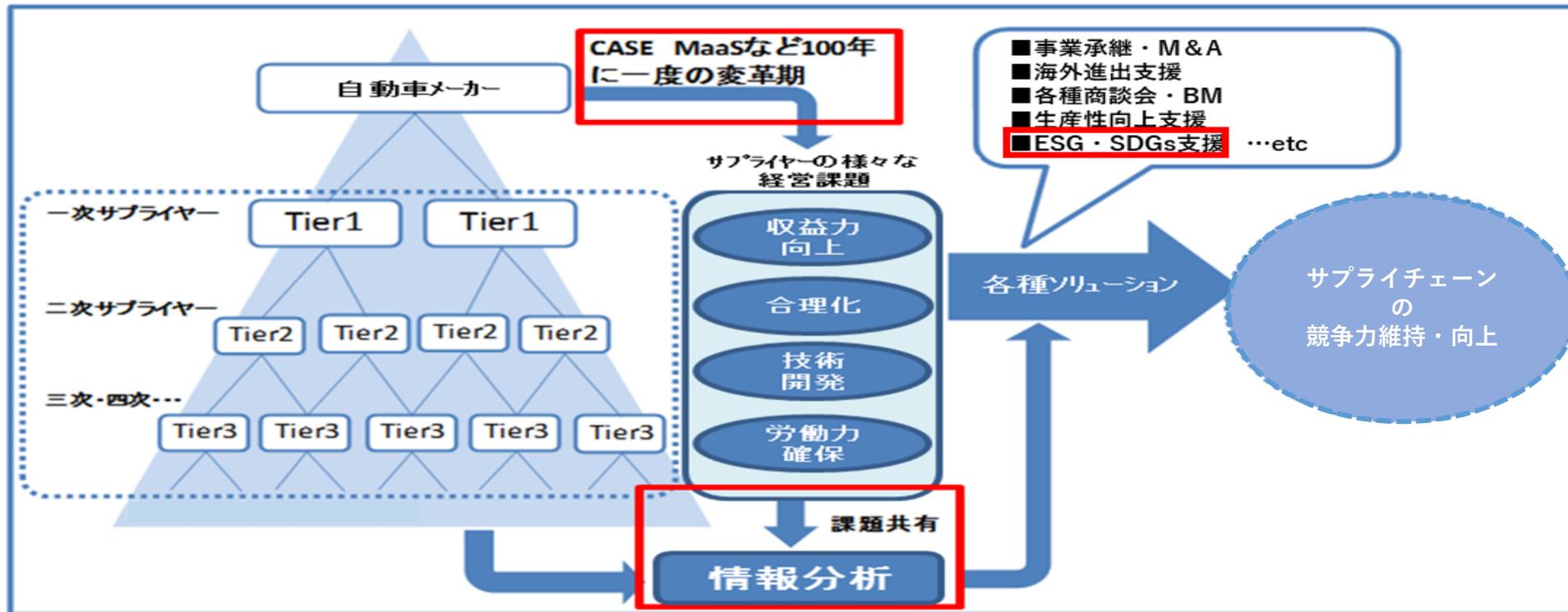
1. 地域の現状と金融機関の役割

- 地域では高齢化・人口減少、事業再生、後継者難といった問題が益々深刻化し、最近では気候変動に伴う災害多発による被害といった問題も広がってきており、地域における課題解決の重要性は益々高まっている。
- 地域金融機関の金融仲介機能、コンサルティング機能（事業承継・M&A、個人資産形成等）の発揮は、地域課題解決に資するもの。
- 地域企業等への課題解決（ESG・SDGs）に資する知見の提供やファイナンス等の必要な支援は地域金融機関の使命。

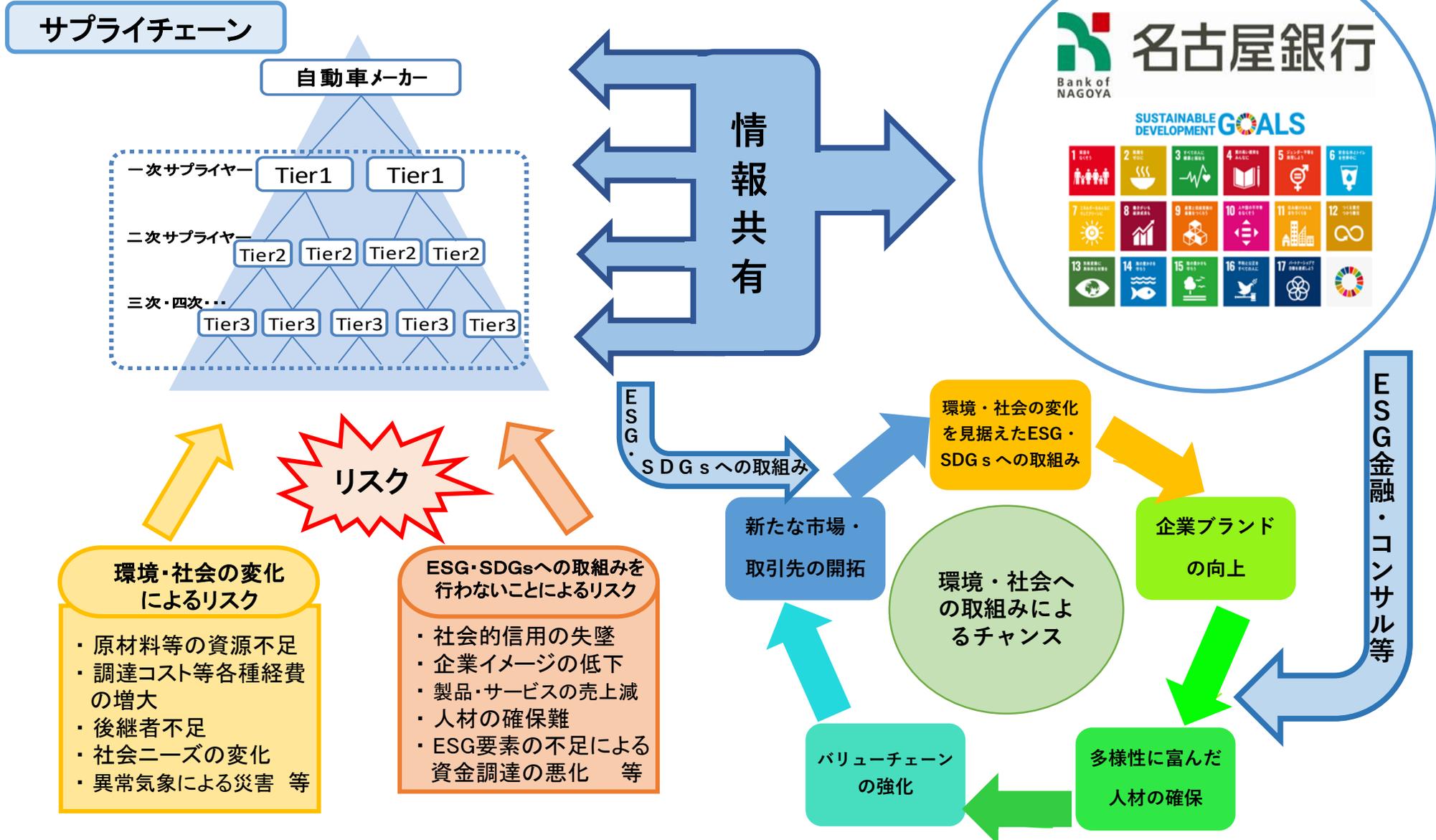


2. 名古屋銀行における取組み

- 愛知県の基幹産業である自動車産業の維持・安定化は地元経済や当行にとって重要なテーマであり、“**地方創生そのもの**”である。
- 自動車業界が「**100年に一度の大変革期**」を迎える中、サプライチェーン企業にとって社会的要請事項となりつつある『**ESG・SDGsへの取組み**』は、今後不可欠なものとなっている。
- サプライチェーン企業との繋がりを深め、『**ESG・SDGs支援**』をはじめとした企業価値向上に資する様々なソリューションの提供が必要であり、「**自動車産業サポート室**」を設立した。



2. 名古屋銀行における取組み（続き）



3. 第二地方銀行協会としての取り組み

共創による変革

会員行の抱える課題（＝地域課題）について、知見や技術を持つ外部の事業者等と議論・協働し、オープンイノベータティブにその解決策を探るためのプラットフォーム（SARBLAB*）を設置。

*Second Association of Regional Banks(第二地方銀行協会) Laboratoryの頭文字から

- 2019年度のテーマは、地域金融業のデジタルイノベーションを通じた業務の効率化、サービスの高付加価値化。
- 2020年度は、上記テーマに加えて、地域課題の解決策もテーマに。SARBLABにおいて、地域課題の解決に必要な知見や技術を有する地元事業者、地元自治体、政策金融機関等と議論・協働していく予定。